

## 資料 2

# コンソーシアムの今後の方向性 について

令和8年7月22日  
震災伝承みやぎコンソーシアム事務局

# 1 前回までの振り返り

## ○令和7年度の活動の振り返り

### (1) 部会活動9回実施

主な検討事項は以下のとおり

- ・ 情報発信部会：HPの新規作成に向けた検討
- ・ 環境整備部会：ゆるやかな意見交換の場の形成
- ・ 連携促進部会：相互研修の実施検討

### (2) 仙台防災未来フォーラムへの出展

- ・ コンソーシアムの概要紹介ポスターを展示

- ・ 発表プログラムの開催（参考）

※県主催で実施

コンソーシアム会員による発表



# 1 前回までの振り返り

令和7年12月19日に実施を予定していた第2回全体会について、今後のコンソーシアムの方向性や全体会・部会のあり方について整理する必要があったことから、開催を延期いたしました。

## <課題意識>

- ・部会で議題に挙げた事業について、コンソーシアム会員が主体的に何を行うか、県が何を行うか、県において役割分担を明確にできなかった
- ・伝承団体との直接のやり取りができておらず、個別のお考えを十分に把握できていなかった

# 1 前回までの振り返り

## <方向性の検討>

- ・部会で議題に挙がった事業について、コンソーシアム会員が主体的に何を行うか、県が何を行うか、県において役割分担を明確にできなかった
- 事業化については基本的に県が主体となって行うことを検討
  - ・専門的な助言について、コンソーシアム会員の有識者と適宜打合せ・進捗確認
  - ・コンソーシアム全体会において進捗の報告
- ・伝承団体との直接のやり取りができておらず、個別のお考えを十分に把握できていなかった
- コンソーシアムのあり方について個別にヒアリングを実施中

# 1 前回までの振り返り

## < 伝承団体の主なお考え >

- ・ 部会の再編については肯定的
- ・ 部会が不要とお考えの方も相当数いる
- ・ 県主体で相互研修等の事業を進めることについて肯定的
- ・ コンソーシアムに求める意義については意見が分かれる  
集まることに意義がある or 集まる以上は具体的な成果を目指す
- ・ 県HPでコンソーシアムの活動・会議内容を公表することについて肯定的

## 2 今後の方向性

### <課題意識>

- ・各会員にそれぞれ本業があり、限られた時間の中でコンソーシアムの活動に協力いただいている現状  
→複数の議題やプロジェクトの同時進行が難しい
- ・当初、伝承の基本方針に掲げる3つの柱に沿って部会を設置  
→事務局リソースの分散、横断的な連携の調整コスト
- ・多様な主体がゆるやかに連携して参画  
→意見集約が難しい

## 2 今後の方向性

### 県からの提案

#### (1) プロジェクトチーム

- ・ 特定の目的ごとに有志によるPTを編成して活動する。
- (例) ホームページPT、情報共有・意見交換PT
- ・ 実務的には、各PTに県職員が入り、企画調整をサポート

#### (2) 県が企画立案

- ・ コンソーシアムの会議の場に出た意見を踏まえ県が企画立案
- ・ 専門的な助言について、コンソーシアム会員の有識者と適宜打合せ

#### (3) 三部会→二部会への再編

- ・ 役割を「外部発信（HP・行事出展等）」と「内部連携（研修・イベント等）」の2軸に集約
- ・ 情報発信部会 → 外部発信部会  
環境整備部会・連携促進部会 → 内部連携部会に再編

(4) PT方式＋県企画立案                      (1) ＋ (2)

(5) 県企画立案＋部会再編                      (2) ＋ (3)

## 2 今後の方向性

| 案                 | メリット                                       | 課題                                 |
|-------------------|--------------------------------------------|------------------------------------|
| (0)<br>現状維持       | 会員が参加する部会の活動に能動的に関与できる                     | P6の説明のとおり                          |
| (1)<br>プロジェクトチーム  | 全体会(ゆるいつながり・情報・意見交換の場)を維持しつつ、具体的な成果物を出しやすい | 全員参加でなくなる<br>チームの有志は綿密な打ち合わせを行う必要性 |
| (2)<br>県企画立案      | 具体的な成果物を出しやすい                              | 会員の主体性が限定される                       |
| (3)<br>三部会→二部会再編  | 会員が参加する部会の活動に能動的に関与できる                     | P6の説明のとおり                          |
| (4)<br>PT方式+県企画立案 | 全体会(ゆるいつながり、情報・意見交換の場)を維持しつつ、具体的な成果物を出しやすい | 部会制と比べて会員の主体性が限定される                |
| (5)<br>県企画立案+部会再編 | 全体会(ゆるいつながり、情報・意見交換の場)を維持しつつ、具体的な成果物を出しやすい | P6の説明のとおり                          |